

【活動日誌269】入館方法の変更から1か月が経過しました

当館は7月19日をもって事前予約制を終了し、7月23日からは予約なしでどなたでも自由にご見学いただけるようになりました。事前予約制を終了してから丸1か月が経過しましたので、改めて来館者数を確認しました。

8月の通常開館は15日で、この間に140名以上の方が当館に来館されています。事前予約制だった頃の通常開館日の来館者数は、多い月でも20～30人ほどでしたので、8月はこれまでの4倍以上の方にご来館いただけたことになります。資料点検やイベント準備等で臨時休館が多かったにもかかわらず、たくさんの方にご来館いただき大変嬉しく思います。9月以降も開館日の開館時間内であれば自由に見学が可能ですので、興味のある方はお気軽に博物館までお越しください。

なお、開館体制の変更に伴って物販の体制も変更となり、博物館スタッフが不在の場合など、開館日であっても都合により商品の販売ができないことがあります。変更が生じた場合は「開館スケジュール」にてご案内いたしますので、ご来館の前にご確認ください。よろしくお願いいたします。

（学芸員 石井）

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #登録博物館

〈日本獣医生命科学大学 開館情報〉

- ・開館日時 火曜日～土曜日 10:30～17:00（最終入館および物販は16:30まで）
- ・休館日 日曜日・月曜日・祝日、年末年始、大学の定める休日（その他臨時休館あり）
- ・入館料 無料

※開館日程は事前の告知なく変更になる場合がありますので、ご来館前に必ず開館スケジュールをご確認ください

※物販体制に変更が生じた場合も開館スケジュールにてその旨を記載しています

■【お知らせ】予約なし見学の開始・物販体制の変更について

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250709-1.html/>

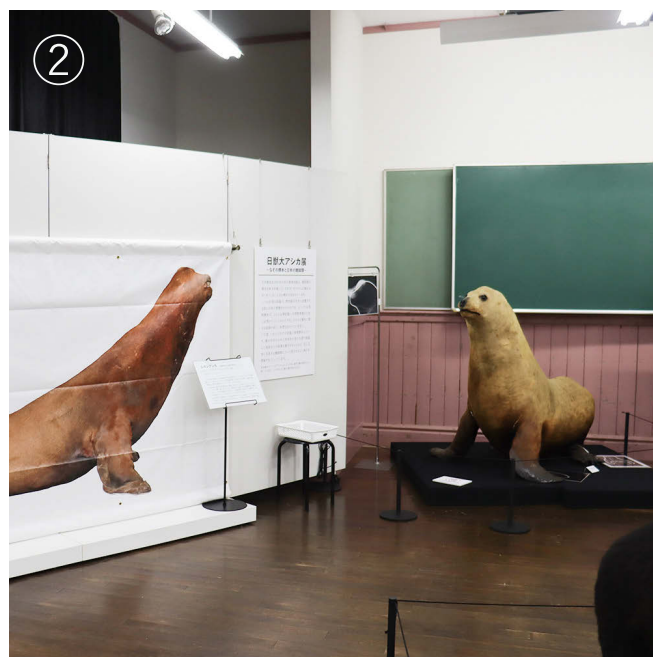
具体的な変更点はこちらをご確認ください

■開館情報

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

より詳しい開館情報と、最新の開館スケジュールはこちらからご確認ください

2025年9月4日の記事



- ① 現在ご覧いただけるミニ展示①: 長次郎の再出発
<https://www.nvlu.ac.jp/universityi.../news/20250602-02.html/>
- ② 現在ご覧いただけるミニ展示②: 日獣大アシカ展 ～なぞの標本と日本の蹠脚類～
<https://www.nvlu.ac.jp/universityi.../news/20250623-01.html/>
- ③ これまで通り歴史系展示室と自然系展示室の常設展示もご覧いただけます
(写真は自然系展示室の様子)
- ④ 開館日には外からも確認できるよう本学正門に看板を設置しています

【活動日誌270】コウノトリに関する配布資料を追加しました

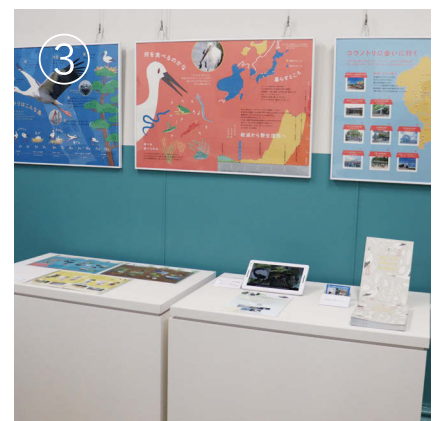
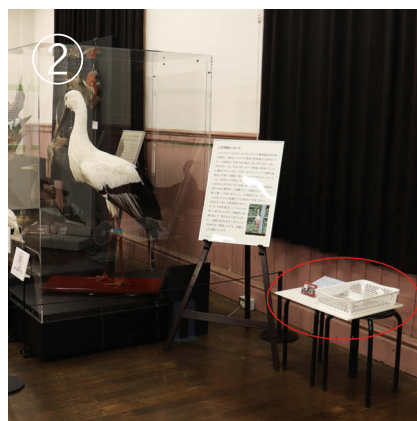
当館は2023年度から関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会(関東エコ・ネット)との連携を続けています。関東エコ・ネットは、関東地域において、多様な主体が協働・連携し、コウノトリ・トキを指標とした河川及び周辺地域における水辺環境の保全・再生方策の推進と併せて、コウノトリ・トキをシンボルとしたにぎわいのある地域振興・経済活性化方策に取り組み、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成によるコウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりの実現を目的として設立された協議会です。関東エコ・ネットでは、動物園などのコウノトリ飼育施設や関連施設とともに、連携イベント「おしえて！コウノトリ」を開催しており、当館もこの活動に協力しています。

この度、関東エコ・ネットとの連携事業の一環として、「関東エコ・ネットカード」と「おしえてコウノトリBOOK」の配布を再開いたしました。これらの資料はこれまでも当館にて配布をしていましたが、展示替えなどの都合により一時的に配布を休止していました。カードには当館が所蔵するコウノトリの写真が掲載されており、おしえてコウノトリBOOKを読むことでより深くコウノトリについて学ぶことができます。

どちらも当館2階自然系展示室にて展示しているコウノトリの剥製の横に置いてありますので、興味のある方はぜひ手にお取りください。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #コウノトリ



- ① 当館所蔵のコウノトリの剥製。現在は常設展示の水辺の鳥の一環として展示しています。
- ② 配布資料は、写真赤丸の位置に置いてあります。
- ③ 2024年2月から6月にかけて実施した関東エコ・ネットとの連携展示の様子。

【今日は何の日9】私立獣医学校開学日

明日、2025年9月12日よりちょうど144年前、本学の起源となる私立獣医学校の開学の許可がおりました。

私立獣医学校は日本で初めてできた、私立の獣医学を学ぶ専門学校です。明治初期に政府が進めた殖産興業政策の一環として農業政策に重点を置く中で設立された、農学と獣医学の両専門科を持つ国の学校である農事修学場と、陸軍の軍馬の衛生管理を行うための人材を養成する陸軍馬医学舎に次いで設立された、獣医学を学べる学校となります。私立獣医学校から歴史が続く本学ですが、開学後から現在に至るまでに2度の閉校や度重なる校地変更もあり、現在では私立獣医学校に関する資料は学内にほとんど残されていません。

わずかに私立獣医学校の資料として本学に引き継がれているのが、私立獣医学校時代に各学科を担当した教員たちの講義内容をまとめた冊子です。これまでの当館の調査により、学内に私立獣医学校時代に作成された講義録の冊子が少なくとも2冊存在することが判明しています。またその2冊と同様の体裁で、筆跡から上記2冊を書いたのと同じ人物が記載したと思われる発行年代不明の2冊も見つかっています。

私立獣医学校時代に用いられていたとされる教科書や、私立獣医学校設立関係者が毛筆で書いた資料である「獣医月報」については、存在は分かっていますが、実物は確認できていません。

これらの古い資料についての情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ当館まで情報をお寄せください。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #獣医学校



日本獣医生命科学大学付属博物館

- ① 私立獣医学校時代の講義の記録をまとめた冊子は、現在歴史系展示室にて展示を行っています。写真下の2冊がそれにあたります。
- ② こちらは私立獣医学校時代の講義の記録をまとめた冊子と同様の装丁で作成され、同人物が記載したと思われる講義録の1つです。最初のページには小澤温吉教授講義との記載があります。小澤温吉は「私立獣医学校設立ノ儀開甲」に署名している9人のうちの一人です。

【お知らせ】オープンキャンパスの活動報告を掲載しました

大学公式サイト内の博物館ページに、8月のオープンキャンパスの活動報告を掲載しました。当日の様子を写真つきで紹介しています。ぜひご覧ください。

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #オープンキャンパス #お知らせ

■【活動報告】オープンキャンパスに合わせて博物館を開館しました

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250909-01.html/>

■【活動日誌266】本日・明日はオープンキャンパスにあわせて開館しています

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0TiewHyhehgviz7tBxGTBLTP8LBzwF4344DynRrJtGRsTcuXXTKQujAhGLD7PJjWzl>

当日の様子速報はこちらからご覧いただけます



- ① 正門入ってすぐのところにある博物館の看板
- ② 学芸員による特別解説の様子
- ③ ミニ展示「長次郎の再出発」も大人気です

【活動日誌271】昆虫標本のデータ整理続報

以前の活動報告で、数年前に本学で学芸員課程を履修していた学生から寄贈された昆虫標本の情報整理作業を始めたことを報告しました。今回はその続きとして、ドイツ箱を開封してラベルのチェックを行ったときの作業をご報告します。

今回も、本学のサークル野生生物研究会に所属する学生のみなさんの協力を得て作業を進めました。当日は好天に恵まれたため予定通りドイツ箱を開封し、前回確認することが出来なかったラベルを一つずつ確認しました。標本を刺している針に何度か折り曲げた状態で刺された紙がついている標本がいくつかあり、前は内容が確認ができなかったため、今回は標本をドイツ箱から取り出した上で針から紙を取り外して広げ、書かれている情報を記録しました。

2回の作業で、ドイツ箱2つ分の標本については確認を終えることが出来ました。標本には現在では数が減ってしまった種や、当時日本の領土だった場所で採集された、現在は日本で確認されない種なども含まれていることがわかりました。

当館にはこの標本以外にも、本学の故・今井壮一名誉教授よりご寄贈いただいた昆虫標本も多数所蔵しており、その中には種名の記録のないものも含まれています。今後は外部からの協力もいただきながら、それらの標本についても情報整理を進めていく予定です。

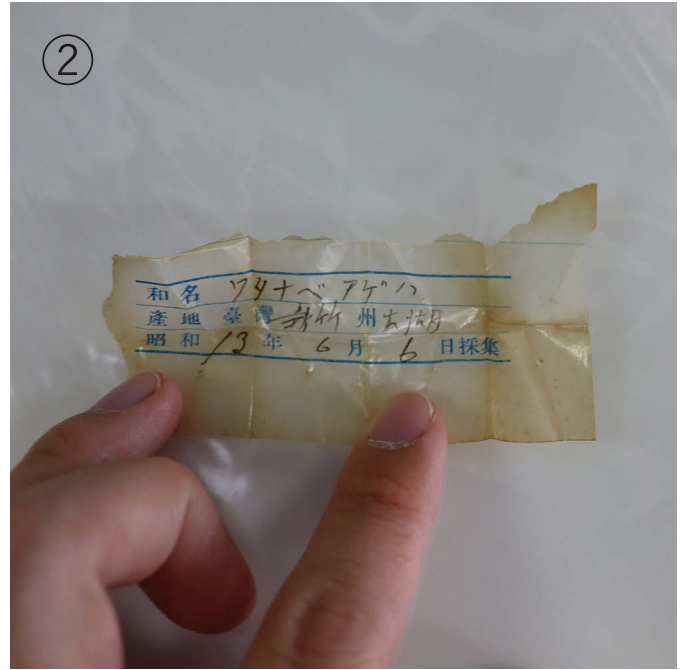
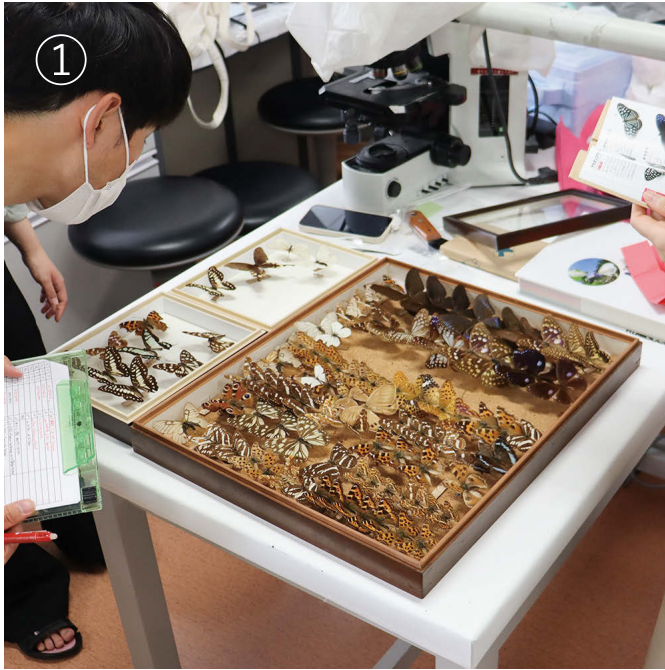
（学芸員 廣瀬）

#チョウ #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動日誌268】昆虫標本のデータ整理を進めています

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02Mg6MwJrqmFCN61ksZW8g1jwJVW3XqJpkKUbpATYWXwRBSXw5FcZr3FcyqAoHjh7pl>

前回の作業の様子はこちらからご覧いただけます



- ① ドイツ箱の中に標本がぎっしり刺されていたため、見たい標本を確認するために近くの標本もドイツ箱から取り出して仮置きしながら、ラベルデータの確認を進めました。
- ② 折り曲げてあった紙を開いて確認した様子。種名にあるワタナベアゲハは日本には生息していない台湾の固有種です。ラベルに書かれている採集地の情報は「臺灣新竹州大湖」と読めます。標本が採集された当時は台湾が日本の領土だった時代で、新竹州大湖群という行政区があったことがわかりました。

【お知らせ】ワークショップの活動報告を掲載しました

大学公式サイト内の博物館ページに、8月に実施したワークショップ「武蔵野動物観察隊5 “一号棟のキリン”と日獣大探検ツアー」の報告を掲載しました。

当日の様子を写真つきで詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください。

#教育普及 #日本獣医生命科学大学 #博物館 #地域連携

■【活動報告】むさしの発見隊「武蔵野動物観察隊5 “一号棟のキリン”と日獣探検ツアー」に講師として参加しました

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250912-01.html/>

報告はこちらからご覧いただけます

■【活動日誌264】ワークショップ「武蔵野動物観察隊5 “一号棟のキリン”と日獣大探検ツアー」に講師として参加しました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02Tp7LcY9DJ3nEER5wfS9CpdkbGK2MsmZzhUtAU4vQBrbZAPZsZbHaNuqXCCMbZVjJI>

当日の様子速報はこちらからご覧いただけます

【活動日誌272】学生向けの広報活動

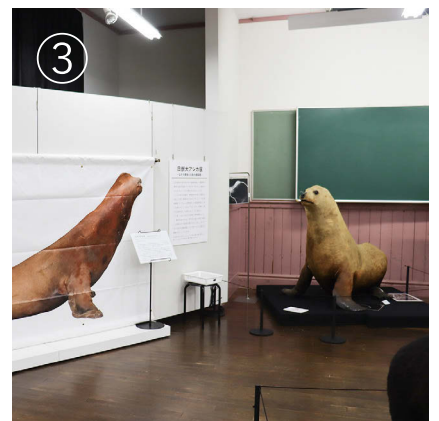
新学期が始まり、夏休み期間中は静かだった学内も活気を取り戻しています。先日、本学の在学生向けの掲示板にミニ展示のポスターを掲示しました。

当館は学内・学外問わず見学を受け入れていますが、学外からいらっしゃる方に比べ、学生が来館する機会が少ないという悩みを抱えています。中には「博物館があることを知らなかった」という学生もいるため、学生向けの広報にも力を入れていきたいと考えています。

現在当館では、2つのミニ展示を開催しています。どちらも11月末で終了するため、掲示板のポスターをきっかけに、より多くの学生さんが展示を見てくれることを期待しています。もちろん学外からお越しの皆様の見学もお待ちしています！

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館



① 掲示したチラシ

② ミニ展示「長次郎の再出発」の様子

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250602-02.html/>

③ ミニ展示「日獣大アシカ展 ～なぞの標本と日本の鰮脚類～」の様子

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250623-01.html/>